

承認No. 894 若潮酒造株式会社

経営革新計画のテーマ

香り系焼酎の新製法確立と事業の大幅拡大

経営革新承認日：令和6年8月8日 承認期間：令和5年8月～令和12年7月

“五蔵の想いを一つに、時代を切り拓く焼酎メーカーへ”

**当**社は、昭和43年8月に志布志市と大崎町の蔵元5社で若潮酒造協同組合を設立以来、各蔵元の技術を結集し「もっと旨い焼酎」を追求してきた。平成20年に現社名に変更後も、地域に根差した焼酎造りを継続している。現在は、近代設備を備えた「志燦蔵」と、昔ながらの手造りにこだわった「千刻蔵」の2蔵体制で、多彩な本格芋焼酎を製造。代表銘柄「GLOW EP05」は「酒屋が選ぶ焼酎大賞」芋焼酎部門で3年連続大賞を受賞し、殿堂入りを果たすなど、伝統と革新を融合させながら、安心安全で高品質な焼酎造りに取り組み、国内外へその魅力を発信している。



▲当社外観



▲志燦蔵

創業以来向き合い続けてきた究極の日常酒づくりと、原料の個性を引き出した新しい酒質に挑戦する蔵



▲千刻蔵

木樽蒸留器で造られる伝統の焼酎造りを継承しつつ、新たな挑戦を続ける蔵

“香り系焼酎の可能性を広げる、新製法開発への挑戦”

**酒**類市場の縮小や原料価格の高騰、少量多品種生産への移行に伴う人員不足など、経営環境の変化への対応が課題となる中、高い評価を得ている香り系焼酎「GLOW」シリーズに着目した。

香り系焼酎は国内外で需要が拡大する一方で、香りの再現性や製造期間に課題がある。そのため、鹿児島大学と連携（令和6年4月から共同研究契約を締結）し、サツマイモ熟成時の個体差など、製造面における課題の解決を図り、香りを自在にコントロールできる新製法の確立を目指した。さらに、新製法を活用した新商品の開発・販売を通じて、香り系焼酎市場における新たな価値の創出と、焼酎市場全体の活性化に取り組むこととした。



## 会社概要

代表者：下戸 誠司  
創業年：昭和43年  
資本金：48,000千円  
所在地：志布志市志布志町志布志安楽215番地  
電話番号：099-472-1185

業種：酒類製造業  
従業員数：35人(令和7年7月期)  
URL：<https://wakashio.com/>

## “「GLOW EP05」を起点に進めた、香り系焼酎の新製法開発と販路開拓の一体的プロジェクト”

**経**営革新計画の承認後、令和7年度に県の「中小企業経営革新支援事業費補助金」を活用し、香り系焼酎の販路拡大とブランド力向上に向けた取組を実施した。新製法については鹿児島大学と共同研究中であることから、新製法の活用を想定している既存商品「GLOW EP05」をプロトタイプとして、販売戦略の見直しやEC販売体制の強化等を図ることとし、専門家の助言を受けながら、既存商品の販売実績や顧客層の分析、当社ECサイトの改善などを行い、新商品の市場投入を見据えた販売方針やマーケティング施策を整理した。

あわせて、大学との共同研究成果をもとに、製造現場で試験仕込みを重ね、新製法の実用化や安定生産に向けた検証にも取り組んだ。

経営革新計画承認前と比較して、EC売上はECサイトの改善効果もあり、2倍以上に増加。また、GLOWシリーズを中心とした香り系焼酎の売上も2倍以上と大幅に増加しており、新製法開発と並行した販路開拓・ブランド強化の取組の成果が着実に現れている。



▲GLOWシリーズの代表作「GLOW EP05」



◀「中小企業経営革新支援事業費補助金」を活用し、自社ECサイトを改善

## “ワクワクできる焼酎を届けたい”

**今**後も鹿児島大学との共同研究を継続し、香り成分の制御技術の更なる精度向上を図る。

また、研究成果の実用化に向けて、新製法を活用した新商品の開発を目指すとともに、既存の香り系焼酎「GLOW」シリーズへの技術応用も検討し、品質及び再現性の向上に取り組む。

さらに、国内外の販路開拓とブランド力の強化も進めることで、焼酎市場における「新たな価値の創出」と「顧客層の拡大」を図り、「次はどんな香りに出会えるだろう」と飲み手がワクワクできる焼酎を届けられる蔵元を目指していく。

